

学校教育目標
「自主 協力 継続」

自主 自ら学び、考え、行動する生徒
協力 協力し、励ましあう生徒
継続 粘り強く、努力する生徒



学校だより No.6

令和6年7月19日

市川市立第八中学校
校長 川野辺 修

有意義な夏休みを

本日で1学期が終わります。1学期は始業式・入学式に始まり、オープンスクールや体育祭、修学旅行や引き渡し訓練等があり、さらには先月末から今月初めにかけては暑い中での三者面談と、保護者の皆様におかれましては様々な面でご理解とご協力いただき、ありがとうございました。

また地域の皆様におかれましても、日頃の見守りや地域活動へのお声掛け等、ありがとうございます。

個人の差はあれ、この3ヶ月半で生徒たちは着実に成長したことを思います。2学期も様々な行事等がございますので、引き続きよろしくお願いいたします。

明日から44日間の長い夏休みとなります。生徒たちは、1学期の振り返りや夏休みの過ごし方の確認を各学級や学年集会で行いました。夏休み中は学校から離れ、家庭や地域にゆだねる時間が多くなりますが、ぜひ有意義な夏休みを過ごしていただければと思います。



先日読んだ『脳の外で考える』（著：アニー・マーフィー・ポール、訳：松丸さとみ ダイアモンド社）という本の中で、次のようなことが記されていました。

人間の脳には限界がある

「脳の外」で考えるとはつまり、頭の外にあるものをうまく使うということです。

体の感覚や動き、学んだり働いたりする物理的な空間、さらには周りにいる人たちの知性を、自分の頭の中で行う処理に使うべく取り込むのです。

「脳の外」にあるリソースを使うことで、文字通り、脳だけでは考えられなかったであろうアイデアを生み出すべく、もっと集中したり、深く理解した

り、想像力豊かに創作したりできるようになります。（P2 はじめに より）

夏休みはまさに、いろいろな体験をし、いろいろな場所に行き、いろいろな人と交流できるチャンスです。これを機会に、日頃の学びをさらに深めていただければと思います。

なお、くれぐれも事故等には気を付けていただきますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

第2回学校運営協議会について

先週7月12日（金）に、今年度第2回目の学校運営協議会を開催しました。今回は、ご希望される委員の方に生徒の様子をご覧いただきました。また、第1回学校評価アンケートについてのご意見もいただきました。以下、参観の感想及びご意見の一部を紹介いたします。

○自己肯定感が高いようであるが、他己紹介等の取り組みの工夫次第でより向上するのではないかと。（サポートするべく生徒への具体的手立ては考える必要がある。）

○ICTの活用については、外部支援を検討してもよいのではないかと。

○もっと地域を頼っていただくことは大歓迎ですので、ぜひお願いしたい。

○思いやりのある子どもたちだからこそ、もっと自己主張ができる子どもたちになってほしい。

○双方向コミュニケーションは大切。授業もよく顔が上がっていて感心した。

次回、第3回の協議会は夏休み明けの9月6日（金）を予定しております。次回委員の方々と生徒が、直接交流できる機会を持てればと考えております。よろしくお願いいたします。

休業中の相談・連絡について

諸々の相談機関について、配布済みの保護者あて文書『夏休みの過ごし方について』に掲載しております。必要に応じてご活用ください。また、万が一事故や被害等にあらわれた場合の連絡先も掲載しております。ご参照ください。

なお、8月8日（木）～8月16日（金）は市内の小・中、特別支援学校統一で閉庁期間として設定しており、土日等の休日同様学校は留守番電話設定になっております。ご承知おきください。

八中のホームページでは日々の様子をブログで紹介しております。
右のQRコードを読み取り、ご覧ください。

<https://ichikawa-school.ed.jp/dai8-chu/>

